

放課後等デイサービス自己評価表

チャイルドアカデミーMIRAIMA

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			個室が4部屋あり、活動内容や利用者の自己コントロール時には配慮ができるようになっている。
	②	職員配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			児童指導員・保育士を常時3人以上、指導スタッフとして配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			玄関にはスロープがあり、室内はバリアフリーになっている。
業務改善	④	事業改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			日々ミーティングを行い、スタッフ全員が支援の目標を共有できるように参画している。
	⑤	保護者等向け利用者評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			ご意見を全職員で読み合わせを行い、業務改善の参考にしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			事業所入口で掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	まだ実施していない。今後実施を検討。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			各種講演会等の案内を提供し、希望を募り参加している。また、定期的に法人研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			契約時、6か月ごとの面談を行い、保護者の方と一緒に今後の支援計画を考えている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			<input type="radio"/>	標準化されたシートについては、今後検討していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			利用する子どもたちに合わせて、日々のミーティング時にチームで行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			外出や、季節を感じられる活動を取り入れたり、利用者の興味の幅を広げていけるように工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			長期休暇時には、個別で目標設定を行い目標達成に向けて日々の活動を計画している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			子どもと相談して、集団活動に参加する時間、個別活動をする時間を決めて、記録を残している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			申し送り時に当日確認表によって役割や、担当利用者の確認をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			日々の支援終了、記録記入後に職員で振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			利用児一人ひとりの様子を個別支援日誌と、個別支援評価表に記録し検証している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			定められた期間に合わせてモニタリングを行い、再アセスメント・個別支援計画の見直しをしている。

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑱ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	○			生活動作や指先を使った活動と共に、ソーシャルスキル やコミュニケーションスキルの向上にも意識した支援を 行っている。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通して最もふさわ しいものが参画しているか		○		管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。今後 は現場職員も参加できるように指導、教育していく。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の 交換、子供の下校時間の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適 切に行っているか	○			各小学校の年間予定、毎月の予定表を頂いている。保護 者の承諾の上、行事参加や学校との連携をとっている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 には、子供の主治医等と連携体制が整ってい るか		○		保護者に確認のうえ、緊急時のマニュアルを作成。連絡 先、担当医師の確認はできている。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定 子ども園、児童発達支援事業所等との間で情 報共有と相互理解に努めているか	○			担当相談員より情報の提供をいただき、情報の共有に努 めている。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業者 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか		○		利用に際しての指導・日々の様子は保管してあるため、 要望があれば提供できる。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受 けているか	○			コロナ禍のため、配信やZOOMを使った研修には積極的 に参加している。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会があるか			○	感染症予防のため本年度は検討しなかった。
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加し ているか			○	感染症予防のため本年度は検討しなかった。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っているか	○			連絡帳や送迎時に事業所での様子をお伝えしている。保 護者の方からの相談があればミーティング時に全スタッフ で共有するようにしている。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支援を 行っているか		○		面談・送迎時に相談があればアドバイス等を行っている。
保護者への説明責任等	⑳〇 運営規定、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っているか	○			事業所内入り口に掲示と共に、契約時に説明している。
	⑳① 保護者や家族からの子育ての悩み等に対す る相談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っているか	○			相談は随時対応している。個別面談時にはしっかりと時 間を取ってお話をしている。
	⑳② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支 援しているか	○			感染予防のため、参加希望者を募り小規模な開催を行っ た。
	⑳③ 子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、保護者等に周知し、 苦情があった場合に迅速かつ適切に対応して いるか	○			苦情解決窓口を設置しており、即時対応できるように徹底 している。
	⑳④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 して発信しているか	○			毎月の予定表を配布し、月間目標や運営報告をお知らせ している。
	⑳⑤ 個人情報に十分注意しているか	○			個人情報保護手順書を作り、事業所内研修を行ってい る。
	⑳⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードやマカトン、文字におこすなどの視覚的な配慮を 行っている。

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか			○	感染症予防のため本年度は検討しなかった。
非常時の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアルや防犯マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊急時マニュアルは策定してあるが、保護者の方に周知できてはいない。個別面談時に確認していただいている。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎年1回避難訓練を実施。
非常時の対応	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			広島県虐待防止・権利擁護研修に参加。事業所内でも資料を参考に研修を行っている。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束が必要な利用者はいない。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者の方から了解を得て、対応マニュアルを作成。アナフィラキシー対応研修を行っている。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			発生時には記入している。記入後に全職員で対応策等を検討し、防止に努めている。

令和3年度 自己評価結果